

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00061）

事務事業名称		すぎなみフェスタ			款	03	項	01	目	01	事業	008	整理番号	062	
現担当課名		文化・交流課			係名			すぎなみフェスタ担当係			連絡先電話番号	3772	昨年度整理番号	061	
上位施策No・施策名										31 交流と平和、男女共同参画の推進			予算事業区分		既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成25年度			主要事業（区政経営報告書掲載事業）										
	平成28年度担当課名	文化・交流課			事業評価区分 一般										
	対象	すぎなみフェスタ来場者 すぎなみフェスタ協賛者 すぎなみフェスタ連携イベント			根拠法令等	(1)	すぎなみフェスタ実行委員会規約								
						(2)	杉並区地域活性化事業推進本部設置要綱								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に」を基本理念に、すぎなみフェスタを開催する。すぎなみフェスタを中核に、他のイベントと連携しながら、杉並の魅力を内外に発信し、地域社会・地域経済の活性化につなげる。			活動指標	指標名（1）	すぎなみフェスタ開催								
					指標説明	すぎなみフェスタ実行委員会・作業部会開催									
					指標名（2）										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	すぎなみフェスタ実行委員会において、イベント内容を企画して実施する。杉並区地域活性化事業推進本部で検討を行い、庁内の応援体制を組み実施する。すぎなみフェスタ実行委員会に事業共催分担金を支出する。			成果指標	指標名（1）	すぎなみフェスタへの来場者									
					指標説明	2日間の延べ来場者数									
					指標名（2）	すぎなみフェスタへの協賛金額									
					指標説明	すぎなみフェスタへの企業・団体・個人の協賛金合計額									
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度	対計画比(%)					
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画							
指標	活動指標（1）	1 回	1	1	1	1	1	1	100.0						
	活動指標（2）	2 回	6	10	10	10	10	8	100.0						
	成果指標（1）	3 人	82,000	85,000	79,000	86,000	104,000	90,000	120.9						
	成果指標（2）	4 千円	8,065	8,800	8,878	9,100	9,494	9,100	104.3						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	12,000	11,300	11,300	11,100	11,100	10,000	平成28年度 予算執行率(%)	100.0					
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数	常勤職員数	8 人	1.15	1.50	1.60	1.50	2.31		1.50					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	10,132	13,215	13,995	13,121	19,778		12,843					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		2,971					
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	22,132	24,515	25,295	24,221	30,878	25,814							
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	22,132,000	24,515,000	25,295,000	24,221,000	30,878,000	25,814,000							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	218	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	218	0							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	22,132	24,515	25,295	24,221	30,660	25,814							
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		062	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみフェスタ実行委員会への事業共催分担金の支出			
		杉並区地域活性化事業推進本部会・幹事会の開催	6	回	0
		すぎなみフェスタ応援職員説明会の開催	2	回	0
		その他()			
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>「すぎなみフェスタ2016」は、平成28年11月5日、6日に桃井原っぱ公園をメイン会場として、杉並区農業祭、すぎなみパン祭り&すぎなみスイーツフェア、すぎなみ産業フェア、杉並アニメーションミュージアム企画展などの連携イベントを各々の主催者と協力して開催し、延べ10万4千人の来場者がありました。</p> <p>なお、開催に当たっては、広告協賛に延べ240件、運営協賛に延べ87件の協賛金をいただきました。</p>			
		<p>平成24年度に桃井原っぱ公園で開催した「杉並区80周年まつり」が延べ約9万3千人の来場者があり、盛況に終了しました。この事業成果を継続的に生かしていくため、同様の実行委員会方式による取組とし、平成25年度から「すぎなみフェスタ」という名称により、毎年秋に実施する一大イベントとして定着してきました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成24年度に桃井原っぱ公園で開催した「杉並区80周年まつり」が延べ約9万3千人の来場者があり、盛況に終了しました。この事業成果を継続的に生かしていくため、同様の実行委員会方式による取組とし、平成25年度から「すぎなみフェスタ」という名称により、毎年秋に実施する一大イベントとして定着してきました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>すぎなみフェスタ2016は、過去最大の10万4千人の来場者があり、来場者アンケートではステージプログラムやテントブースを「毎年楽しみにしている」「また開催して欲しい」など、出店者アンケートでは、他県からなどの来場者が増加し「活気があった」などの意見が多く寄せられました。今後は、さらに具体的な満足度を図る評価項目などを取り入れることが望まれています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>杉並区制80周年まつりから5回の開催により、実施時期や場所などイベントとして定着し、テントの規模なども限界となっているが、区民からの開催に対する期待の声があることから、杉並や交流自治体等の魅力を発信する機会として、内容を充実させていくことで、区民の豊かな暮らしに寄与していきます。</p>			
評価と課題		<p>「すぎなみフェスタ」は、「人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に」のもと、例年を上回る多くの来場者により活気あふれるイベントとなりました。</p> <p>また、交流自治体をはじめとした基礎自治体にも出店いただくことで、物産品の販売と観光PRにより、多くの区民に魅力を伝えることができました。</p> <p>「すぎなみフェスタ2016」では、復興支援の取組に力を注ぎ、東北に加え、熊本県、大分県のアンテナショップが初参加し、物販はほぼ完売となるなど多くの方にご支援いただくことができました。今後は、すぎなみフェスタの更なる魅力向上と、これまでの効果等について、検証していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・実施主体の見直し		
翌年度の方針		<p>来場者や出店者からは、好評を得ているため、さらに充実したイベントとなるよう継続して取組を進めます。その上で、実施体制の見直し、効率的な運営、運営経費及びスタッフの削減を目指して取り組んでいきます。</p>			
翌年度の方針		<p>翌年度予算の方向性の理由・内容</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00065)

事務事業名称		平和事業の推進				款	03	項	01	目	01	事業	012	整理番号	066	
現担当課名		区民生活部管理課		係名		庶務係		連絡先電話番号		3754		昨年度整理番号		065		
上位施策No・施策名											31 交流と平和、男女共同参画の推進		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成元年度	実行計画事業		目標	05	施策	31	計画事業		03					
	平成28年度担当課名	区民生活部管理課										事業評価区分		一般		
	対象	区民、関係団体、民間団体				根拠法令等		(1)		杉並区平和都市宣言						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		指標名(1)		平和のつどい開催日数							
	区民一人ひとりが、平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深め、世界の恒久平和に寄与する。				指標説明		指標名(2)		平和のためのポスターコンクール応募校数							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				指標説明		成果指標		指標名(1)		平和のつどいへの参加者数						
平和のつどいの実施 平和のためのポスターコンクールの実施 北朝鮮拉致被害者家族支援 平和意識の啓発				指標説明		指標名(2)		平和のためのポスターコンクール応募者数								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	日	15	17	16	16	15	15	93.8						
	活動指標(2)	2	校	20	25	22	25	23	25	92.0						
	成果指標(1)	3	人	950	1,000	1,080	950	990	1,000	104.2						
	成果指標(2)	4	人	1,042	1,100	580	1,000	850	1,000	85.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	2,865	9,569	8,462	2,955	2,513	3,672	平成28年度 予算執行率(%)	85.0					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	288	4,766	4,034	359	295	336							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.90	0.90	1.01	0.90	0.94	0.90						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	7,929	7,929	8,834	7,872	8,048	7,706						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	10,794	17,498	17,296	10,827	10,561	11,378						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	719,600	1,029,294	1,081,000	676,688	704,067	758,533						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	10,794	17,498	17,296	10,827	10,561	11,378							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	066	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		平和のつどい（8月・3月）		3	回	704
平和のためのポスターコンクール		1	回	1,127		
平和意識の啓発、他自治体との連携				672		
北朝鮮拉致被害者家族支援		4	回	10		
その他（ ）						
(2) 事業実績	<p>平和のつどいは、8月と3月に延べ3回実施しました。平和のためのポスターコンクールについては、区内小中学校から23校・850点の応募があり、審査会で入賞作品を決定の上、展示会を12月と3月に行いました。北朝鮮拉致被害者家族支援については、区役所及び地域区民センター3所でパネル展を開催しました。また、各関係団体と8月、2月、3月に計3回平和に係る共催事業を実施しました。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和63年3月30日「杉並区平和都市宣言」を行い、平成24年8月1日には平和首長会議に加盟しました。戦争体験者・被爆体験者の高齢化が年々進んでいることから、戦争の惨禍を風化させず、平和の尊さを次世代に語り継いでいくことが必要とされています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>平和のつどいの展示会で実施したアンケートの中の区民意見には、戦争を考えるシンポジウム、朗読会等の実施や、戦争に関する証言を記録にした映像の作成・活用等の要望がありました。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>未だ世界各地において紛争が起きている中、依然として核兵器廃絶への道も厳しい状況です。今後も区民一人ひとりが戦争の悲惨さや平和の尊さについて理解を深めることは、ますます重要になると考えられます。</p>				
評価と課題	<p>平和に係る各種事業を確実に実施し、継続して戦争の悲惨さや平和の尊さを周知することで、平和のつどいには毎年約1,000人の参加があるなど一定の成果を収めていますが、定例化による事業の硬直化の傾向もあることから、各事業の更なる見直し・改善が課題となっています。また、平成30年は、杉並区平和都市宣言から30年を迎えることから、これを機に、記念となる事業実施の検討を平成29年度に行います。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成30年は杉並区平和都市宣言から30年を迎えるため、30年を記念したイベント等事業の検討を行います。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00066）

事務事業名称		男女共同参画の推進				款	03	項	01	目	01	事業	013	整理番号	067	
現担当課名		区民生活部管理課		係名		男女共同・犯罪被害者支援係		連絡先電話番号		3756		昨年度整理番号		066		
上位施策No・施策名											31 交流と平和、男女共同参画の推進		予算事業区分		既定事業	
事業開始		平成3年度		実行計画事業		目標05		施策31		計画事業04		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
平成28年度担当課名		区民生活部管理課										事業評価区分		一般		
対象		区民、職員、各主管課				根拠法令等		(1)		男女共同参画社会基本法						
								(2)		杉並区男女共同参画推進区民懇談会運営要綱						
事務事業の概要	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）				活動指標		男女共同参画推進区民懇談会の開催数									
	男女平等や男女共同参画についての理解を深める。男女共同参画行動計画を着実に実行する。配偶者等からの暴力による被害者を支援する。				指標名(1)		配偶者等からの暴力についての相談件数									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）				指標説明											
		男女共同参画意識の啓発「杉並区男女共同参画行動計画」の策定、推進区民懇談会で男女共同参画についての区民意見を聴取配偶者暴力相談支援センターの運営				成果指標		審議会等における女性委員の登用割合								
						指標名(1)		仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合								
						指標説明		区民意向調査による								
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										
						指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
						成果指標										

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	067
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		男女共同参画に関する意識と生活実態調査	1	回	4,201
		男女共同参画行動計画進捗状況調査	1	回	549
		男女共同参画推進区民懇談会	3	回	182
		配偶者等暴力相談業務委託	231	日	7,775
		その他(啓発用品の作成・購入等)			1,001
(2) 事業実績	<p>男女共同参画推進会議、男女共同参画推進区民懇談会で男女共同参画に関する意識と生活実態調査の内容について検討を重ね、区民と区内事業所に対して調査を実施しました。 また、DV被害者支援の充実を図るため、DV相談専用ダイヤルを設置・運営(NPO法人に委託)し、配偶者暴力相談支援センターの機能を整備しました。 そのほか、性的マイノリティに関する職員研修を実施するなど、今日的な課題にも積極的に取り組みました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>審議会等における女性委員の登用率(平成4年25.1% 平成28年33.8%)は、向上していますが、事業の検討過程や計画策定等の意思決定過程において、さらに女性の参画を進める取組が必要です。配偶者暴力相談支援センターの機能整備により、配偶者等(内縁、デートDVを含む)からの暴力についての相談件数は区全体(男女平等推進センター、福祉事務所、子ども家庭支援センター、保健センター)で増加傾向にあります。(平成26年度:766件 平成27年度:798件 平成28年度:821件)</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>男女共同参画推進区民懇談会の委員からは、女性の社会進出をいっそう推進し、区内における男女共同参画施策をより積極的に進めるよう要望する声があります。関係団体からは、男女共同参画推進条例の制定や審議会設置についての要望のほかに、男女平等推進センターの活性化や利便性の良い場所への移転を希望する声があります。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の施行に伴い、事業主行動計画の策定が進み、ワーク・ライフ・バランスが実現された健康で豊かな生活を送るための環境整備がさらに進み、すべての人がその個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向けた積極的な取組が求められます。 配偶者等からの暴力による被害者支援については、配偶者暴力相談支援センターでの相談内容等を踏まえ、幅広い領域からの専門的な相談に対応できるよう、区の相談窓口や関係機関との連携や相談員のさらなる質の向上が求められます。</p>			
評価と課題	<p>「杉並区男女共同参画行動計画」の改定に向けて、男女共同参画に関する意識と生活実態調査を実施しました。今回から調査対象に区内事業所を加え、事業所における男女共同参画等の意識や取組状況の把握に努めました。また、調査項目の見直しを行い、新たに性的マイノリティに関する項目を追加するなど、社会情勢の変化に対応した行動計画を策定するための基礎資料としました。計画の改定に当たっては、これらの調査結果を踏まえ、より実効性の高い計画とすることとします。 配偶者暴力相談支援センターの機能整備に伴い、パンフレット等を活用しDV専用ダイヤルの周知に努めました。DV被害者支援の充実を図るため、相談機能の向上に努めるとともに、関係機関との連携強化を進めていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>行動計画には、保健福祉、産業振興、教育等、幅広い分野の取組が盛り込まれています。このため、庁内推進組織である「男女共同参画推進会議」のもとで必要な調整を図り、男女共同参画に関する総合的な取組を積極的に推進するとともに、男女共同参画に関する意識と生活実態調査結果から得られた課題を整理し、行動計画の改定に取り組みます。 また、成果指標等の数値目標を踏まえ、事務事業の推進状況調査を毎年実施し、区民懇談会で得られた意見も参考にしながら取組の改善につなげていきます。 さらに、配偶者暴力相談支援センターにおいては、関係各課との連携を密にし、DV被害者の総合的支援を推進していきます。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00067）

事務事業名称 男女平等推進センターの運営			款 03	項 01	目 01	事業 014	整理番号 068				
現担当課名 区民生活部管理課		係名 男女共同・犯罪被害者支援係		連絡先電話番号 3756		昨年度整理番号 067					
上位施策No・施策名 31 交流と平和、男女共同参画の推進						予算事業区分 既定事業					
事業開始 平成 9年度		実行計画事業 目標 05 施策 31		計画事業 04							
平成28年度担当課名 区民生活部管理課						事業評価区分 一般					
事務事業の概要	対象		区内在住・在勤・在学者、区内女性団体・グループ、男女平等推進センターを利用する個人・団体		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立男女平等推進センター条例 杉並区立男女平等推進センター総合相談実施要綱					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		男女共同参画社会づくりに関する情報提供や講座の開催等により、意識啓発を図る。男女共同参画関連団体等の育成を促進する。相談者が抱える様々な悩みことに関し、適切な指導・助言を行い自分らしい生活を送るための手助けをする。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	講座の開催回数 女性相談員による総合相談日数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		男女共同参画の推進を目的とした啓発講座等の開催 男女共同参画に関する情報の収集・発信 女性相談員による電話と面接による一般相談の実施 女性弁護士による法律相談の実施 男女平等推進センターの維持管理		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	区民向け啓発講座受講者の延べ人数 総合相談件数（一般・法律）					
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1 回	17	15	12	15	11	14	73.3		
	活動指標（2）	2 日	305	307	305	305	255	244	83.6		
	成果指標（1）	3 人	470	500	357	500	297	450	59.4		
	成果指標（2）	4 件	132	200	102	765	660	732	86.3		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	19,011	20,890	19,576	15,764	14,582	15,932	平成28年度 予算執行率(%)	92.5	
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内) 委託費	7 千円	15,928	17,358	17,002	12,928	12,386	13,301	・成果指標（2） 平成27年度までは、男女平等推進センター相談事業で受付けた配偶者等からの暴力の相談（DV相談）件数を記載していました。平成28年度からは、配偶者暴力相談支援センターの整備に伴い、DV相談を「男女共同参画の推進（事務事業名）」で実施するため、男女平等推進センター総合相談（一般・法律）件数に変更しました。 ・事業費の減 配偶者暴力相談支援センター機能整備に伴う一般相談員数の減		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.60	0.40	0.51	1.40	1.45	2.00		
		再任用職員数	9 人	0.07	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10 人	0.73	0.61	0.61	1.00	1.00	1.00		
	人件費	常勤職員分	11 千円	5,286	3,524	4,461	12,246	12,415	17,124		
		再任用職員分	12 千円	284	0	331	0	0	0		
		非常勤職員分	13 千円	2,066	1,726	1,790	2,935	2,971	2,971		
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	26,647	26,140	26,158	30,945	29,968	36,027			
	単位当たりコスト (14-6)÷1)	15 円	1,567,471	1,742,667	2,179,833	2,063,000	2,724,364	2,573,357			
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	26,647	26,140	26,158	30,945	29,968	36,027			
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	068	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		相談業務委託		255	日	5,500
		維持管理委託		305	日	4,482
		施設保守管理委託		305	日	1,264
		講座の開催		5	講座	1,427
		その他（光熱水費、法律相談、情報誌の発行、図書購入ほか）				1,909
	(2) 事業実績	男女平等推進センターの維持管理のほか、総合相談（一般相談・法律相談）は男女平等推進センター分室（本庁）に場所を変更して実施しました。男女平等推進センター講座は、団体の企画・運営により父親向けの子育て関係の講座や新しい働き方を学ぶセミナー、女性の視点から企画した防災講座などを実施し、延べ297人が参加しました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	一般相談は平成19年度から事業委託しています。平成27・28年度は、公募型プロポーザルにより決定した団体が相談事業を受託しています。 平成28年4月19日から開設した配偶者暴力相談支援センター（DV相談）と合わせ、男女平等推進センター総合相談（一般相談・法律相談）の実施場所を男女平等推進センター分室（本庁）へ移転しました。 区民を対象とした男女平等推進センター講座は、平成22年度から講座の企画・運営団体を公募し実施しています。毎年、NPO法人や団体から幅広いテーマでの応募があります。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	男女平等推進センターの場所について、わかりづらいので利便性の良い場所へ移転して欲しいとの意見があります。また、図書コーナーの図書について、より多くの区民が利用できるように区立図書館と連携して欲しいという要望があります。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	男女平等推進センター総合相談（一般相談）では、相談内容が多様化する中、今後も幅広い領域からの専門的な相談への的確な対応が求められます。そのために区の相談窓口や関係機関との連携や相談員のさらなる質の向上を図ります。 男女平等推進センターの利用を促進するために、男女共同参画関連団体等と連携した事業の取り組みや交流コーナー等の利用方法などを検討します。				
	評価と課題	平成28年度の男女平等推進センター講座の企画運営は、前年度を上回る応募がありました。また、テーマも在宅ワークセミナーや性的マイノリティなど多方面にわたり、バランスの取れた講座内容となりました。今後も男女共同参画推進に向けて、幅広いテーマや内容の講座を実施していく必要があります。 相談事業については、新たに機能整備を行った配偶者暴力相談支援センターのDV相談との連携を強化し総合相談窓口の充実に努めます。また、相談内容も多様化する中、相談に適切に対応できるよう情報収集を行うとともに、研修内容を充実するなど相談員の質の向上を図ります。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	男女平等推進センターの運営については、様々な機会を活用して積極的にPRを行い活性化に努めます。 男女平等推進センター講座については、行動計画に基づき社会情勢に応じたテーマ設定をし、多くの区民へ啓発を行っていきます。 一般相談で受付けたDV相談については、配偶者等暴力相談支援センターと連携し適切に対応していきます。				

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00715）

事務事業名称		地方創生の推進				款	03	項	01	目	01	事業	017	整理番号	071	
現担当課名		文化・交流課				係名		地方創生担当		連絡先電話番号		3772		昨年度整理番号		
上位施策No・施策名										31 交流与平和、男女共同参画の推進		予算事業区分		新規事業		
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業		目標 05	施策 31	計画事業 01									
	平成28年度担当課名	文化・交流課										事業評価区分		一般		
	対象	区民、交流自治体				根拠法令等		(1)		まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）						
							(2)		杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区と交流自治体が互いに活性化する新しい人の流れの創出 都市部と地方の共存共栄 区の将来における人口減少の克服				活動指標		指標名（1）		地方創生・交流自治体連携フォーラム開催回数						
						指標説明				地方創生の取り組みを交流自治体と進めるために開催するフォーラム						
						指標名（2）				杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議開催回数						
						指標説明				総合戦略における具体的取組等を推進するための会議						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略」各事業進行管理 地方創生・交流自治体連携フォーラムの開催 交流自治体との新たな連携による事業推進 特別区全国連携プロジェクトの推進														
						成果指標		指標名（1）								
						指標説明										
						指標名（2）										
						指標説明										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1	0	2	1	1	1	1	100.0							
	活動指標（2）	2	0	0	0	2	2	4	100.0							
	成果指標（1）	3														
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	0	0	0	4,586	3,236	6,897	平成28年度 予算執行率（%）	70.6					
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	0	0	0	85	46	86	本事務事業評価は、平成27、28年度事務事業評価（平成26、27年度決算に対するもの）						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.00	0.00	1.50	1.77	1.95	「地方創生交付金事業」を一部引き継ぎ、新たに事務事業を起こしたものです。					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	執行残（執行率70.6%）の主な理由は、旅費の未執行によるもので、出張回数が計画規模までに至らなかったこと及び、交通手段を公用車としたためです。					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	0	0	13,121	15,155	16,696						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費	14	千円	0	0	0	17,707	18,391	23,593							
	単位当たりコスト	15	円	0	0	0	17,707,000	18,391,000	23,593,000							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	120	0							
特定財源計		20	千円	0	0	0	0	120	0							
差引：一般財源		21	千円	0	0	0	17,707	18,271	23,593							
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 071

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	地方創生・交流自治体連携フォーラムの開催	1	回	183
		まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の開催	2	回	0
		交流自治体への出張			475
		非常勤職員報酬の支出			2,450
		その他（複合事務機消耗品供給及び保守、消耗品等）			128
(2) 事業実績	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に推進するため、各事業における四半期ごとの進行管理と課題の整理を行い、まち・ひと・しごと創生総推進会議を2回開催しました。 第三回地方創生・交流自治体連携フォーラムを11月4日青梅市にて開催し、交流自治体における連携事業の取組報告及び「地域の魅力を発掘する」をテーマに交流自治体首長による討議を行いました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>国は平成26年11月、まち・ひと・しごと創生法を制定し、同年12月には創生法に基づき「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。杉並区においては、地方創生を自らの問題として正面から受け止め、将来にわたって地域の活力を維持し、持続可能な財政運営を確保するため、平成27年12月に「杉並区まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、具体的取組を行っています。 地方創生・交流自治体連携フォーラムは、交流自治体が連携し、ともに輝く地方創生を実現することを目的に平成27年7月に第1回フォーラムが名寄市で開催されました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略」に示されているKGI（戦略最終年度（平成31年度）の目標達成指標）とKPI（重要業績評価指標）を全て達成しても地方創生は進まないのではないかと、KPIの内容が基本目標の達成につながるものになっていないものがあるのではないかと、この意見がありました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>東京圏への人口流入は増加傾向である一方、地方は人口が減少していくことが想定されます。杉並区の人口も増加傾向にありますが、日本の総人口が減少すれば、杉並区もその影響を受けることは避けられないため、地方創生を自らの問題として正面から受け止め、交流自治体を中心とした地方との連携等を行っていきます。</p>			
評価と課題	<p>平成28年度から「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略」が本格稼働したことを受け、総合戦略における各取組について、四半期ごとの進行管理と課題整理を行うことにより、総合戦略を着実に推進することができました。平成29年度は総合戦略の計画期間の中間年として、これまでの効果検証を行い、後期計画推進に向けさらなる充実を図ります。 地方創生・交流自治体連携フォーラムを平成27年度に引き続き平成28年度も開催し、各自治体首長による討議等を通じて各自治体の課題の共有化が図られました。今後のフォーラムにおいて、課題解決への方向性について各自治体での合意形成が得られた際には、課題解決に向け交流自治体間で研究していきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>地方創生・交流自治体連携フォーラムは継続して開催し、交流自治体間連携の下、課題解決に向けて取り組みます。なお、これまでのフォーラムでの討議を踏まえ、平成30年度においても交流自治体と連携した事業実施に向けての調査・研究を行うため、平成29年度と同規模予算で各交流自治体の魅力発信やWIN・WINの関係を築くよう取り組みます。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00069）

事務事業名称		国際・国内交流の推進					款	03	項	01	目	02	事業	002	整理番号	074
現担当課名		文化・交流課			係名		交流推進担当係			連絡先電話番号		3785		昨年度整理番号		070
上位施策No・施策名											31 交流と平和、男女共同参画の推進		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成元年度	実行計画事業		目標	05	施策	31	計画事業	01	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成28年度担当課名	文化・交流課										事業評価区分		一般		
	対象	区内在住、在勤、在学				根拠法令等	(1)		国内友好都市（名寄市・東吾妻町）との交流協定							
							(2)		国外友好都市（ウイロビー市・瑞草区）との交流協定							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	国内外の交流自治体と教育・文化・スポーツ等の多様な分野を通じて交流の輪を広げる。市民レベルの交流を行い、友好親善を深める。多文化との共生の実現に向け、相互理解を深める。				活動指標	指標名（1）		国際交流事業参加者数							
						指標説明		国内交流事業参加者数								
					指標名（2）											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	交流自治体「北海道名寄市、群馬県東吾妻町、ウイロビー市（オーストラリア）、ソウル市瑞草区（大韓民国）等」の代表団の受入、区代表団の派遣 交流自治体が区民を対象に行う生産物即売等各種事業の支援 他課・他団体が行う交流事業への支援				成果指標	指標名（1）		多文化共生（文化等の違いを認め、国籍等の異なる人々が共に生きる）イベントの満足度 参加してよかったとアンケート回答した参加者数÷アンケート回答者数								
						指標説明		国際・国内友好都市との交流事業参加者数								
					指標名（2）											
					指標説明											
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標（1）	1	人	883	1,500	868	1,500	1,090	1,500	72.7						
	活動指標（2）	2	人	3,874	4,200	3,835	4,300	3,447	4,400	80.2						
	成果指標（1）	3	%	0.0	0	76.4	80	85.8	80	107.3						
	成果指標（2）	4	人	3,564	3,600	3,496	3,100	2,938	3,100	94.8						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,655	25,740	20,028	20,810	14,277	21,953	平成28年度 予算執行率(%)	68.6					
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	7	千円	143	6,514	2,101	7,176	4,777	3,207	平成27年度事業費からの減理由 平成27年度に実施した台湾阿波おどり公演を行わなかったことによります。						
	職員数	常勤職員数	8	人	3.26	2.30	2.60	3.50	3.39	3.30	執行残の理由 瑞草区との友好都市協定締結25周年記念式典開催場所を杉並区から瑞草区に変更となったこと、交流自治体情報紙「てくてく」の印刷部数の減となったことによります。					
		再任用職員数	9	人	0.00	1.00	1.15	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	28,721	20,263	22,742	30,615	29,025	28,255						
		再任用職員分	12	千円	0	4,050	4,760	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	2,830	2,830	2,935	2,935	2,971	2,971						
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	38,206	52,883	50,465	54,360	46,273	53,179							
	単位当たりコスト (14÷6)÷1	15	円	43,268	35,255	58,139	36,240	42,452	35,453							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	1,000	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	1,000	0	0	0							
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	38,206	52,883	49,465	54,360	46,273	53,179							
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	074
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		国際・国内交流自治体への代表訪問団等の派遣	17	回	2,846
		交流自治体情報紙「てくてく」の発行	2	回	1,984
		東京高円寺阿波おどり大会への交流自治体代表団等の受入れ	1	回	372
		その他(友好都市等交流事業ほか)			9,075
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>台湾戯曲学院59周年記念式典、瑞草区との友好都市協定締結25周年記念式典、そして国内交流自治体へ区代表団等を派遣しました。</p> <p>国内交流自治体のとっておき情報を区民に発信する情報紙「てくてく」を創刊し、2回発行しました。</p> <p>また、新たな取組として「すぎなみ地域おこし協力隊」の活動を開始し、平成28年度は北塩原村の裏磐梯雪まつりの準備・運営に係る協力活動を行いました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成元年に東吾妻町(旧吾妻町)、名寄市(旧風連町)との交流がスタートし、その後は、災害時相互援助協定等の締結を契機に小千谷市、北塩原村、南相馬市、青梅市と交流を行っています。更に23年度～24年度で武蔵野市、忍野村、南伊豆町との交流がスタートしました。従来の儀礼的な交流から物産展やバスツアーのなど区民交流や経済的な交流を軸とした民々の交流に力を入れています。また、海外の友好都市であるオーストラリア連邦ウィロビー市と青少年交流、大韓民国ソウル特別市瑞草区と職員交流を実施したほか、台湾台北市での東京高円寺阿波おどり公演も行っています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>交流自治体物産展では、農産物が産地直送のため新鮮で良質な物が多いことから完売となることが多く、農産物を主体とした物産展が多くの人に期待されています。</p> <p>区が交流協会と共催で実施している海外文化を紹介するイベントには、幅広い年齢層の区民参加があり、また、次の開催を期待する声が多く寄せられます。</p>			
	今後(3～5年)の予測と方向性	<p>各交流自治体が地方版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、都市と地方が共存共栄を目指すための自治体連携に取り組む中で、これまで以上に交流事業の多様化が進むことが予測されます。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックが近づく中で、外国からの観光客や在住外国人が増加し、国際化の進展が予測されます。また、国際交流都市からの来訪者の増加も予測されますので、それに対応した施策や受入体制の充実を図っていく必要があります。</p>			
評価と課題		<p>事業費は、「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく新たな取組もあることから増加傾向になっています。交流事業は、多様化していることからこれに対応するためには、民間の力を活用するなど事業の取組方に創意工夫をこらし、事業費の増加の抑制に努めていきます。</p> <p>また、区が行う国際・国内交流事業は、交流自治体の認知度を高めることにつながりますので、事業参加者数を増やす取組を実施していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>国内外の交流自治体と教育・文化・スポーツなどの多様な分野を通じて交流の輪を拡げていく事業を今後も展開していくとともに、杉並区総合戦略に基づく事業も着実に実施していきます。</p> <p>また、平成30年度以降の台湾交流事業では、これまで以上に国や都、民間団体等からの助成金や協賛金を活用して、予算規模の適正化を図っていきます。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00070)

事務事業名称		杉並区交流協会助成				款	03	項	01	目	02	事業	003	整理番号	075	
現担当課名		文化・交流課		係名	交流推進担当係			連絡先電話番号	3785		昨年度整理番号	071				
上位施策No・施策名											31 交流と平和、男女共同参画の推進		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始															
	平成28年度担当課名	文化・交流課									事業評価区分	一般				
	対象	区民、交流団体			根拠法令等	(1)		杉並区交流協会補助金交付要綱								
						(2)										
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	国際交流の推進により、多文化共生の地域社会を構築する。 国内交流において、市民レベルの草の根交流が活発に行われている。 交流協会が交流事業のコーディネーターとしての十分な機能、役割を担う。			活動指標	指標名(1)		ボランティア登録数								
					指標説明		事業回数									
					指標名(2)											
					指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区交流協会に対し、交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する。															
				成果指標	指標名(1)		協会会員数									
					指標説明		事業参加者数									
					指標名(2)											
					指標説明											
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	人	343	350	464	500	549	600	109.8						
	活動指標(2)	2	回	533	540	612	700	613	700	87.6						
	成果指標(1)	3	人	451	600	468	600	419	600	69.8						
	成果指標(2)	4	人	3,135	3,300	5,461	6,000	7,586	7,000	126.4						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	25,219	30,118	27,515	31,791	26,671	32,820	平成28年度予算執行率(%)	83.9					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行残の理由 杉並区交流協会補助金返還によるものです。						
	(内)委託費	7	千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							0.00
		再任用職員数	9	人	2.06	3.00	2.08	1.00	2.03							2.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00							0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	0	0	0	0							0
		再任用職員分	12	千円	8,343	12,150	8,609	4,139	8,912							8,780
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	2,935	0							0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	33,562	42,268	36,124	38,865	35,583	41,600							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	97,848	120,766	77,853	77,730	64,814	69,333							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0							0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0							0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0							0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	33,562	42,268	36,124	38,865	35,583	41,600							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 075		
平成28年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
		(1) 主な取組	交流協会助成	
	その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>地方創生総合戦略に基づく事業として「交流自治体体験交流ツアー」を、小千谷市への訪問1回、小千谷市からの受入2回の計3回実施しました。 また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックや外国人観光客の増加を見据えた語学ボランティアの育成について、新たに上級者向けの「スキルアップ講座（会話・翻訳）」や東京都と連携して「おもてなし講座」を開催しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成3年に国際交流協会として設立、5年に財団化、12年に財団を廃止、杉並区文化・交流協会に統合、その後杉並公会堂や座・高円寺などの文化施設が整備される中で文化部門を廃止しました。18年から杉並区交流協会として再出発し、今日に至っています。25年には、交流協会の理念を「人と人、地域と地域をつなぐ杉並区交流協会」とし、事業を在住外国人の支援、国内外の自治体交流の推進、多文化共生社会の相互理解の向上の3つの柱に沿って体系づけました。</p>		
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>在住外国人の増加に伴い、通訳ボランティアの様々な場面での需要が年々増加しています。</p>		
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>東京オリンピック・パラリンピックの開催、観光客や在住外国人の増加により、外国人対応が増々重要となっています。このような社会状況の中で、語学ボランティアの育成・スキルアップや一般の方々に対して外国人とのコミュニケーションのとり方など、おもてなしの地域文化の創出に向けて交流協会が様々な事業を展開していく必要があります。 また、国が推進している「まち・ひと・しごと創生」に基づき、杉並区と交流自治体とが連携し、相互の地域特性を生かした事業を展開していきます。</p>		
評価と課題	<p>交流協会の「人と人、地域と地域をつなぐ杉並区交流協会」の理念と3つの柱を基本に事業を推進し、事業回数、参加者数とも年々拡大していますが、協力会員の減少など事業にあたる人員の確保が課題となっています。 また、26年度から実施している語学ボランティアスキルアップ研修の充実や育成など、東京オリンピック・パラリンピックを控え、外国人との多文化共生社会に対応していける新たな事業展開を進めており、今後も更に拡大していく必要があります。 このような課題に対応していくためには、協会サポート委員や事業協力者が不可欠となっており、そのためにも情報の発信や組織的な対応を強めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持	
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）	
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>東京オリンピック・パラリンピックの開催、観光客や在住外国人の増加など、日本人・外国人を問わず国際化社会に向けた事業の展開が必要となってきますが、予算は極力拡大しないよう既存の事業の精査、事業内容の改善等に対応していきます。</p>		

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00087）

事務事業名称 住居表示の管理			款 03	項 04	目 02	事業 003	整理番号 095			
現担当課名 区民課		係名 管理係			連絡先電話番号 1103	昨年度整理番号 091				
上位施策No・施策名 31 交流と平和、男女共同参画の推進						予算事業区分 既定事業				
事業開始	昭和38年度	実行計画事業	目標 05	施策 31	計画事業 02					
平成28年度担当課名	区民課					事業評価区分	一般			
事務事業の概要	対象		住居表示：新築等の建物の所有者、住居表示実施後の住所確認が必要な者 案内板：通行人等の地図利用者		根拠法令等 (1) (2)	住居表示に関する法律、同施行令 住居表示に関する条例、同施行規則				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		住居表示：街区に接する建物の順に住居番号を付番することで、わかりやすい住居表示を維持管理し、建物の住居表示を明確にする。 案内板：利用者が現在地や目的地を把握できるようにする。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	住居表示の付定件数 案内板の設置数				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		住居表示：届出に基づき、基準により住居番号を付定する。 案内板：公共サイン（地図サイン・誘導サイン）等を要所に設置し、維持管理する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明					
総事業費・コスト把握	区分	単位	平成26年度実績	平成27年度計画	平成27年度実績	平成28年度計画（目標値）	平成28年度実績	平成29年度計画	平成28年度対計画比(%)	
	活動指標（1）	1 件	2,138	2,000	2,248	2,100	2,175	2,100	103.6	
	活動指標（2）	2 基	196	196	189	189	190	190	100.5	
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
	事業費	5 千円	7,384	20,347	18,616	20,608	19,086	17,355	平成28年度予算執行率(%) 92.6	
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	（内）委託費	7 千円	4,355	16,176	14,883	17,528	16,368	14,477		
	職員数	常勤職員数	8 人	4.24	4.05	3.07	3.07	2.64	3.03	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	1.00	1.00	1.00	1.30	2.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	37,354	35,681	26,853	26,853	22,604	25,943	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	2,830	2,935	2,935	3,862	5,942	
	総事業費	14 千円	44,738	58,858	48,404	50,396	45,552	49,240		
	単位当たりコスト	15 円	20,925	29,429	21,532	23,998	20,943	23,448		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	4,177	0	4,266	0	
		その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0	
		特定財源計	20 千円	0	0	4,177	0	4,266	0	
		差引：一般財源	21 千円	44,738	58,858	44,227	50,396	41,286	49,240	
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	095
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		住居表示の付定・住居表示実施証明発行	2,175	件	583
		住居表示案内掲示板、公共サインの維持管理	98	基	12,813
		街区表示板の維持管理	165	件	1,067
		住居表示管理システムの維持管理			4,349
		その他（事務用品 ほか）			274
事業環境の変化と方向性	(2) 事業実績	<p>住居表示の付定件数は2,175件、住居表示実施証明書の発行件数は249件でした。駅前を設置されている案内地図サイン3基は、東京都の補助金を利用し、歩行者用観光案内標識に建替えを行いました。平成27年度に設置した歩行者用観光案内標識の補助として、誘導サインを3基、新規設置を行いました。また、区立施設の廃止や移転、板面の汚れにより、誘導サインの板面修正を14枚行いました。街区表示板の整備委託は1,037街区を調査し、貼替や補修、新規貼付を行いました。</p>			
		<p>IT（情報技術）による電子地図情報の利用が高度化し、社会生活の情報基盤となっています。住居表示は地図情報の基盤として、関連事業者等からの利用ニーズが高まっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>街区表示板や住居番号表示板については、より広く表示するため、区が広報等により周知を積極的に行ってほしいという要望がある一方、プライバシー等の理由から、貼付したくないという声も寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>宅地の細分化により同一住居番号の建物が増えています。郵便物の誤配等を心配される方も多く、住居表示に枝番号を付ける建物がさらに増加すると考えられます。また、電子地図情報の利用が高まる中、地図情報の基盤として、関連事業者から情報提供の依頼が増加すると思われます。</p>			
	評価と課題	<p>現在地確認や郵便物等の誤配防止を目的に、街区表示板や住居番号表示板の設置に対する要望が増えています。建物の新築時や所有者からの連絡があった場合等に配布を行っていますが、紛失や経年劣化による退色も多く見受けられるため、広報等を利用し表示板の設置について積極的に周知を図ります。平成28年度は、東京都の補助事業を利用し、駅前設置されている案内地図サイン3基について建替えを行いました。東京オリンピック・パラリンピックに伴い今後も増加していくであろう外国人旅行者や地域住民等の利便性向上を図るため、駅前を中心に周辺の地図情報や区立施設、観光施設を案内する歩行者用観光案内標識の設置を行っていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
		<p>2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、実行計画において多言語表記の歩行者用観光案内標識を設置していきます。区立施設再編整備計画等で新設・変更・廃止する施設について、適宜情報収集を行い、案内板の表示内容を見直します。街区表示板や住居番号表示板の設置への協力は、区広報やホームページへの掲載等で周知を図ります。また、街区表示板の整備委託において、張り替えや補修のほか新規貼付も実施し、普及に努めます。</p>			